

福山市立明王台小学校スタートカリキュラム計画				学校教育目標		自ら学び、豊かな心でたくましく生きる子どもの育成		作成日		令和7年		4月1日																																	
幼児期の終わりまでに育ってほしい「10の姿」 ①健康な心と体 ②自立心 ③協働性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現				入学当初の児童の姿 ○交流会で見た体育館に行ってみたいな。 ○たくさん遊んだり、勉強したりしたいな。 ○同じ保育園の友達がいらないから、友達ができるか不安だな。				明王台小学校目指す子ども像 ・じっくり考える子 ・くり返し挑戦する子 ・はっきり表現する子・おもしろい子				城北中学校区 目指す子ども像 ・自ら考え、主体的に判断し、自律した行動ができる児童生徒 ・豊かな心を持ち、お互いを尊重し、人を大切にする児童生徒				広島県の15歳の生徒に身にかけておいてほしい力 ○自己を認識する力 ○自分の人生を選択する力 ○表現する力																													
月	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3											
児童の姿	ことば・数の獲得			体験や活動の中で、自分が知っている言葉や数を積極的に使っている。						体験や活動の中で、不思議だと思ったことを口に出し、学び合うことで語彙を増やしたり、楽しく言葉・数に関わったりする。						新しい言葉や数に関心をもち、積極的に使おうとしている。 課題について対話をしたり、調べたりする。						期待する児童の姿 主体的に自己を発揮しながら学びに向かう ○自分の思いを伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら、学習や生活できる。																							
	学びに向かう力			遊びを含め、学習面、生活面において、友達や先生と関わりながら、何事にも積極的に取り組もうとしている。						友達や先生だけでなく、年長児とも関わり、それぞれに応じた接し方ができている。なぜ？どうして？と思うことを見付け、その課題に積極的に関わろうとしている。						1年間の成長を振り返り、2年生への期待と目標をもっている。 難しいことにもくり返し挑戦し、粘り強く取り組む。																													
単元構成	生活科を中心とした			生「ともだちとなかよくなろう」 ・新しい友達と遊んだり、上級生や先生たちと関わったりし、学校にいる人たちに親しみをもつ。 国語「おはなしききたいな」「どうぞよろしく」 図工「だんだんかくのはたのしいな」 音楽「歌って踊って仲良くなろう」 道徳「明るいあいさつ」 体育「表現リズム遊び」 児童会「1年生を迎える会」			生「つうがくろでみつけたよ」 ・町探検に出かけ、地域で過ごすルールについて考えたり、話し合ったりする。 国語「すきなことなあに」 学活「安全な登下校」 行事「交通安全教室」			生「むしとなかよくなろう」 ・知っている虫や見つけた場所について話し合い、虫を探しに行き、捕まえた虫をすみかを作って育て、様子を観察する。 ・生き物を観察し、形や動きを言葉で表現したり、生き物の数を数えたりする。 国語「しらせたいな見せたいな」 算数「10よりおおきいかず」「ふえたりへったり」「どちらがながい」 道徳「げんきでね、あげはくん」			生「たのしいねあきのあそび」 生「ようこそあきのテーマパークへ」 ・集めた秋の自然物を使って、試行錯誤を重ねながら、おもちゃ作りをする。 ・友達と相談をし、年長児の立場に立って、おもちゃやルールを工夫する。 ・年長児に思いやりのある声かけをする。 国語「言葉をつたのしもう」「日づけとよう日」「てがみでしらせよう」 算数「たしざん」「ひきざん」 体育「ボールゲーム」			生「きこえてきたよふゆのあしおと」 ・身近にある冬を見付けたり、冬の自然状況を生かした遊びを工夫したりして、友達や異学年と遊ぶ。 算数「20より大きいかず」「なんじなんぶん」 音楽「にほんのうたをたのしもう」 図工「わくわくおはなしすごろく」 道徳「お正月」			生「かぞくだいすきだよ」 ・家族で過ごしている日常を振り返り、家族のあたたかさに気付くとともに、自分にできることについても考える。 ・家族の一員として、自分ができる役割について考え実行し、家族が笑顔になった時の思いを表現する。 道徳「みんな赤ちゃんだったよ」「ハムスターの赤ちゃん」			生「きこえてきたよはるのあしおと」 ・身近な場所の植物や生き物の変化を見付け、春の訪れを感じる。 国語「もののなまえ」 算数「かずをせいりしよう」 音楽「うたつてなかよし」			生「がっこうとなかよくなろう」 ・学校探検を通して、施設の場所や使い方を知り、場面に応じた行動について考える。 国語「かくことたのしいな」「なんて言おうかな」「こんなもの見つけたよ」 書写「字を書く姿勢」「鉛筆の持ち方」 体育「固定施設を使った運動遊び」 道徳「はりきり1年生」 学活「小学校のきまり」			生「なつとなかよし」 ・夏の遊びを想起し、他教科と関連を図り、砂遊び、水遊び、シャボン玉遊びなどを友達と工夫しながら行う。 国語「こんなことがあったよ」「みんなに知らせよう」 算数「あわせていくつ」 音楽「身の回りの音に耳を澄まそう」 図工「すなやつとなかよし」 体育「みずあそび」 学活「水泳のきまり」「夏休みのくらし」			生「あきをみつけよう」 ・秋の学習計画を自分たちで立て、秋見つけに行く。秋の自然に触れたり、自然物を採集したりして、工夫して遊ぶ。 国語「しらせたいな見せたいな」 算数「10よりおおきいかず」「たしざん」「ひきざん」 図工「いっぱいつかってなにをしよう」「はこでつくったよ」			生「さむくなってもあそぼうよ」 ・風や気温など、冬の自然状況を生かした遊びを考えたり工夫したりして、友達と遊ぶ。 算数「20より大きいかず」「なんじなんぶん」 図工「うつつしたかたちから」			生「もうすぐ2年生」 ・自分たちの成長を振り返ったり、お世話になった人に感謝の気持ちをもったりし、進級する喜びやこれからの成長に期待をもって生活する。来年度の1年生に自分たちができることを考える。 国語「これはなんでしょう」「いいこといっぱい1年生」 音楽「みんなで合わせてたのしもう」 道徳「大すきだから」 学活「1年間を振り返って」 児童会「6年生を送る会」			生「はなややさいおおきくなってね」 生「はなややさいもつとおおきくなったよ」 生「たねやみにになったね」 ・植えた植物の成長を楽しみにし、育てる意欲を高める。 ・植物の成長を絵や文で表現したり、種の収穫をして数を数えたりする。 国語「おおきくなった」「しらせたいな、見せたいな」 算数「あわせていくつふえるといくつ」「のこりはいくつがはいくつ」「10より大きいかず」「かずをせいりしよう」			・来年度の入学式に向けて、チューリップなどの植物を植え、新一年生入学の期待を込めて世話をし、関心を持つ。 ・チューリップやその他の植物の植え方や育て方を説明したり、球根を置く間隔や深さを考えたりする。 国語「もののなまえ」 算数「おなじかずずつわけよう」		
	(人・もの・こと等)			環境構成 ・学習に入る前に自由遊びの時間を確保し、園・所での生活と学校生活をスムーズにつなぐことができるようにする。 ・生活科を中心とした総合的な指導を行う。単元構成を工夫したり、15分単位で活動を変えたりするなど、集中力が途切れない授業づくりを行う。 ・給食や掃除は6年生と協力して行ったり、準備の仕方や片づけ方を可視化して掲示したりすることで、安心して学校生活を送ることができるようにする。 ・就学前にやっていた遊びを小学校で取り入れる。			生活科では、自分たちの「やりたい」を大事にし、計画を立てて準備を進める経験を積み、今後の活動につながるようにする。 ・やってみようという思いをすぐに表せるよう、必要な材料などをいつでも手に取れる場所に置いておく。 ・友達の名前を覚え、「おにごっこしたい」などの思いを伝えられるようになってきたが、友達の思いを受け止めることができにくい児童もいるので、担任、学校支援員と一緒に遊ぶ。 ・係や当番活動をはじめ、一人ひとりに役割を持たせることで、責任感を持たせたり、友達と協力したりする場面を持たせる。			・2年生と合同の秋祭りの実施し、2年生への憧れを持たせる。 ・異学年との交流を積極的に行い、人のかかわり方や活動の仕方を学ぶ機会をもち、園児へのかかわり方へ生かす。 ・年長さんとの交流を通して、相手の立場に立って考えたり、年下の子と関わったりする経験を持たせる。また、準備をする中で自分や友達の成長に気づかせる。 ・1年間を振り返ることを通して、自分の成長や、友達の良いところに気付く。																																			
り	異学年との関わり			入学式(6年) 1年生を迎える会(全校) 学校探検(2年) 通年 縦割り班掃除(全校) 明王台学区・明王台小学校合同運動会(全校・地域) 明王台音頭(地域) まち探検(地域) 通年 地域別児童会(全校) 秋見つけ(地域) なかよし集会(全校) 学習発表会(2年) 持久走大会(2年) 大縄大会(全校) ボランティア感謝の会(地域) 6年生を送る会(6年)																																									
	連携			幼保 ・幼稚園で行っていた手遊びや言葉遊びを教えてもらう。 ・4月の参観日には、それぞれの保育園や幼稚園の先生を招待し、頑張りを見てもらう。 ・運動会リハーサルへの招待			関係 ・入学後児童の様子をもとに保護者と連携し、通級やクローバー、こども発達支援センター等の専門機関への相談をお知らせする。			家庭 ・保育園や幼稚園の保育参観。 ・小学校の授業参観。 ・学習発表会の練習期間に年長さんを招待し、出来上がるまでの過程の交流。			・2年生と遊んだ経験を活かし、保育園や幼稚園の年長さんを招いた会などを実施する。(秋祭り・新一年生との交流会) ・新一年生の学校案内 ・入学予定の全児童について、管理職・担任・特別支援コーディネーター等が園や所と連携を図る。 ・就学時検診の時に、保護者の相談を聞き、クローバーやこども発達支援センター等の専門機関をお知らせする。																																
通年				子どもが話す宿題 (1か月間は学校での出来事を話す宿題を出す。)				宿題・時間割の確認のお願い (気持ちの良いスタートのために確認してもらう。)				日々の様子の連絡 ・毎日の連絡ノートや電話連絡で子どもの様子について伝える。				学校の様子を伝える ・学校だよりや学年だよりを通して、学校の取り組みについて知らせる。				材料集めの協力依頼 ・お家の人に向けて書いた文章などにコメントをもらう。				規則正しい生活の呼びかけ 特に長期休みの前後に「早寝・早起き・朝ごはん」を意識してもらう。				1年間の成長の報告 1年間の子どもの成長をお知らせし、成長を感じていただくとともに2年生への期待を持っていただく																	